

海風通信

発行者 : 学校法人 了德寺大学
 学長 山之口 美喜生
 〒279-8567 千葉県浦安市明海5丁目8番1号
 TEL : 047(382)2111 (代表)

第34号

未来を拓け!

MOVE FAST THINK BIG START SMALL 2-3

理事長 相川 佳之

23年春、その新しい光の中で 4-5

学長 山之口 美喜生

学問のすすめ、読書のすすめ 6-7

健康科学部長 檀 和夫

医療人にもとめられるもの 8-9

図書館長 石丸 圭荘

新たな歴史の第一歩 10-11

学生部長 武内 朗

新入生のみなさんへ 12-13

教養部長 山田 利彦

第3の耳でコミュニケーションスキルを高めよう

..... 14-15

理学療法学科長 盆子原 秀三

そもそも柔道整復師とは? 16-17

整復医療・トレーナー学科長 大澤 裕行

「切磋琢磨」の精神で成長しよう!! 18-19

看護学科長 佐藤 みつ子

図書館活用の極意 20



「MOVE FAST THINK BIG START SMALL」

了徳寺大学 理事長
SBCメディカルグループホールディングス CEO
相川 佳之

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。2023年1月より了徳寺大学の理事長に就任いたしました、SBCメディカルグループホールディングスCEO相川です。

私は日本大学医学部を卒業し、麻酔科と美容外科を学んだ後、2000年神奈川県藤沢市に湘南美容クリニックを開設いたしました。その後横浜、藤沢とクリニックを展開し今では全国120以上のクリニックがあります。美容クリニックで、まずは日本で一番お客さまが来てくれるグループになろうと志していましたが、その途中でアメリカのミネソタ州にある世界的に評価の高いメイヨークリニックの存在を知りました。『メイヨークリニック 伝説のサービス』という本に書かれていたのは、患者さんファーストという理念と MOVE FAST THINK BIG START SMALL 夢は大きく、早く行動し、最初は小さく始めるという行動指針でした。その本を読んだ時に、私の夢が美容医療日本一からメイヨークリニックのような世界一の評判の良い病院グループを作る！に変わりました。

それからメイヨークリニックに2度ほど見学に行き、メイヨーは医学部、看護学部を持ち教育に重きを置いているというのが非常に印象的でした。

今回了徳寺大学理事長の話をいただきお受けしたのは、まさにメイヨーのように大学の教育から関わり、世界で活躍するリーダーの育成に関わりたいという思いがあったからです。

現在SBCグループでは6,637名 医師355名 看護師3,020名 カウンセラー2,204名（ほか1,058名）※ 美容医療 歯科 整形外科 不妊治療 一般内科 眼科 皮膚科 AGA治療を行っておりますが、学生の皆さんの研修や卒業後の就職先としても良いコラボレーションが生まれると確信しております。

※ 2023年2月時点

プロフィール

1970年生まれ。神奈川県出身。日本大学医学部卒業。麻酔科研修後、都内大手美容外科に勤務。2000年に神奈川県藤沢市に湘南美容外科クリニックを開院。2023年現在では美容医療にとどまらず総合医療まで拡大し、SBCメディカルグループホールディングスCEOのほか、日本美容外科学会理事、先進医療医師会参与など多数務める。

【経歴】

1997年 日本大学医学部卒・癌研究所附属病院麻酔科勤務

2000年 湘南美容外科クリニック藤沢院 開院

2008年 ハーバード大学医学部PGA所属

2015年 日本美容外科学会学会長

2020年 公益財団法人SBC医学振興財団 設立

2021年 無料大学進学支援医療コース プロジェクト発足

2023年 湘南美容クリニックグループ 累計131院※開院

※ 2023年2月時点

日本美容外科学会 学会長 (2015年)

日本美容外科学会 理事

先進医療医師会 参与

日本再生医療学会 理事長補佐

パッションリーダーズ 理事



究極の「三方良し」経営
アチーブメント出版・2020/5/27

名実ともに日本一の美容クリニックグループとなった、湘南美容クリニック。その原動力となった「三方良し」の理念経営を原点から紐解く一冊。



僕が湘南に小さなクリニックを開業し、20年で「101院、年間来院者数230万人」の医療グループに拡大できた理由
幻冬舎・2020/9/24

常に考えていたのは、患者に寄り添い、最高の医療を提供すること。「いちばん選ばれる存在になるため」の発想と、それを実現させるためのヒントがこの一冊に。



23年春、その新しい光の中で

学長 山之口美喜生

1年生のみなさん、入学から早くも2カ月が経とうとしています。そろそろ大学生活にも慣れてきたでしょうか。

2年生のみなさん、入学から1年が過ぎました。入学当時に抱いていた熱い思いと志は、まだその胸の中に灯っているでしょうか。

3年生のみなさん、専門科目が中心となり更に学びの難易度が上がりました。2年後の国家試験もそろそろ現実的な話になってきています。迷いも生じやすい時ですが、あらためて志を強く持っていますでしょうか。

4年生のみなさん、いよいよ学修は実習や演習での仕上げの時期となりました。国家試験対策も本番です。今ならまだ勉強不足のやり直しは可能です。来年4月にはきっと誰かの命と健康とその未来に向き合っていることでしょう。言い訳無用の学習が必要となる1年間です。

そうやってそれぞれの思いで頑張っている全てのみなさんに、私が「座右の銘」としている言葉を贈りたいと思います。

『努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る』

この言葉は前号で今年の卒業生にもお伝えしました。作家・井上靖(1907年～1991年)の言葉です。とても有名な名言ですが、この言葉のように希望だけを持って日常生活を送ることは簡単ではありません。心のどこかには常に何かしらの不平不満が渦巻いています。

学校への不満、社会への不満、家族への不満、人間関係への不満、そして自分自身への不満。不満を言っているだけでは解決にならないことは自分でもよくわかっています。わかってはいても不満はどんどんたまっていきます。

決して怠けているつもりはなく、それなりに頑張っているつもりだからこそ、不満は怒りとなり怒りは責任転嫁となり責任転嫁は不満の原因の確信となります。しかし、残念ながらそこから生まれるのは争いと暗闇であり平和や光ではありません。

では、どうすれば努力する人になれるのか。

努力する人は不満の処理の仕方を身につけた人です。努力する人にも不満の種は日々芽生えます。ただ、努力する人は、不満と感じた問題を「では自分はどうしたらいいのか？」と未来への疑問形に変換して解決策を考えます。あとはその「解決策を実行」しているのです。これが「努力」です。

努力とは、「解決された未来の姿」つまり「希望」に向かうための頑張りです。だから、努力する人は前向きな思考となり、自然と希望が口に出るのです。希望を語ると気持ちはよりポジティブとなり、希望そのものが自らを導く光となっていきます。

みなさんはこれから多くの楽しみと同じ数だけの困難も経験することでしょう。勉強であれプライベートであれその場面も内容もきっと様々です。立ち足かかる壁の前で心折れそうになることもあるでしょう。そういう苦難の時に心を支えてくれるのが言葉です。友人です。

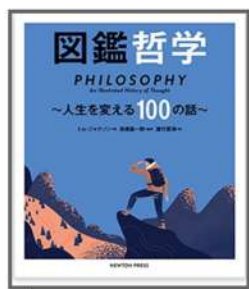
『言葉』には力があります。魂に響く『言葉』は力を与えてくれます。あなたが見つけたその言葉を人生の友人の一人に加えてください。

ジャンルは問いません。本を読む習慣を身につけてください。いい本と巡り会い、何かの言葉に心を打たれた時、それはきっとあなたが人生の宝物(友)を手に入れた瞬間となります。

人生は一度きりです。万人平等に寿命があります。だからこそ、命尽きるまでは、それぞれの立場で、それぞれのやり方で、最善を尽くして、「光」の中で生きていきましょう。

でも、時にはコーヒーブレイクも必要ですよ。その傍らには一冊の本を…。

あなたの人生に一条の光を



図鑑哲学
～人生を変える100の話～
トム・ジャクソン著
ニュートンプレス 2020/10/31



1日1話、読めば心が熱くなる
365人の仕事の教科書
藤尾秀昭監
致知出版社 2020/11/30



「学問のすすめ、読書のすすめ」

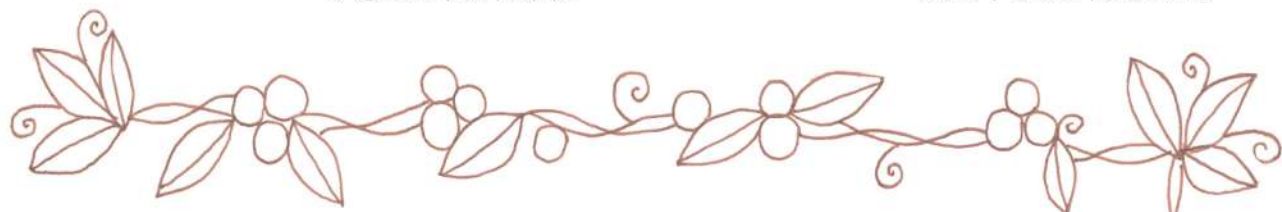
健康科学部長・医学教育センター長
檀 和夫

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。と今どき言われても今更何を言っているの、と言われそうですね。入学して早2か月が過ぎた現在ではむしろそれどころか既に始まった医療系の勉強の量の多さ、必修科目の多さ、聞いたことのない医学用語の多さに驚いたり、焦ったり、落ち込んだりというところかもしれないですね。

でも最初の医学教育センターのガイダンスの時にも言いましたが、あなた達自身が医療人（理学療法士、看護師、柔道整復師・トレーナー）にどうしてもなりたいと望んだ事なのですからその気持ちが本当であるならば勉強のハードさは誰のせいにもできませんよね。この医療系大学の勉強のきつさは考えてみれば当然です。医療人は対象が病に罹り辛く苦しんでいる患者さんであり、その病の苦痛を軽くし、あるいは命を救うのが仕事です。この患者さんという他人の身体を触らせてもらい命を預らせてもらうための資格を国からもらうのですから生半可な勉強でいいはずがありません。そのかわりにあなたの仕事により、患者さんの病気が良くなり、あるいは命が助かり元の生活に戻れた時の患者さんの嬉しさ、幸福感は容易に想像できますし、これを達成できた時の患者さんからの感謝と自分自身の医療人としてのやりがいは他のどの仕事にも勝ると私は思います。この生きがいを感じられる医療人になれるかどうかはあなた達のこれからの4年間の努力にかかっているわけで、それを達成するためにはガイダンスの時にも言いましたが毎日のコツコツとした努力の積み重ね以外に方法はありません。学問に王道なしと言われる通りです。4年間の努力の後には一生のやりがいのある生活が待っています。

さて私はあなた達に4月の授業開始そうそう人間関係実践演習Ⅱ（医療教養）という授業で、「これからの4年間で医学知識、専門知識、専門技能を学んで身につけるけれど、それだけでは医療人にはなれず、目の前の患者さんの病気からくる苦痛や焦り・悲しみ、社会生活や家庭生活を送れない辛さ、さらには患者さんの経済





状態をも思いやれる心を持つことが必要」と言いました。そして「今のあなたに目の前の初対面の患者さんと良い人間関係が築ける自信があるか」という問をぶつけました。もちろんほとんどすべての学生が「ない」と答えていました。その通りだと思います。授業でも言いましたが、「医療人には患者さんと良好なコミュニケーションをとり良好な人間関係を築く力」そして「患者さんから信頼される人間力」が要求されます。このような人間力を身につけるには、例えばコミュニケーション能力、患者さんの気持ち、想い、生活状況、経済状況等に思いを馳せることができる想像力、共感力、幅広い趣味、日本や世界の社会情勢の知識等が必要になります。こんなのは無理と思うかも知れませんが私は多くの本を読むことでそれが達成できていると思っています。あなた達は幸か不幸か小さな頃からスマホに慣れ親しんできています。報道では多くの子供達が毎日驚くほどの時間スマホでSNS、ゲーム、通販サイト、検索サイト等を見ているとのこと。ついでに言うと最近の研究では長時間スマホを見ることによって子供たちの視力の低下、斜視の増加、頸椎の変形、さらに学力の低下が進んできていることが指摘されています。私自身も授業で毎回学生達に課すレポートを読んでいると日本語の文章になっていないもの、大学生ではなく小さな子供の書く文章を読んでいるかの印象を受けるものにしばしば遭遇します。スマホに費やすこれだけの時間を本を読むことに使えたら上に書いた「人間性を高める」「人間力を大きくする」という点でどれだけの差が出ることでしょう？答えは明らかです。読書はきちんとした文章を書くために必要な漢字力、単語力、言い回しなどの言語能力を身につけてくれますし、また前述の患者さんの気持ち、想い、生活状況、経済状況等に思いを馳せることができる能力としての「想像力」、これを培ってくれます。そして何よりも小説はその面白さで時間を忘れるほどの楽しさを与えてくれます。

4年間の専門的勉強とともに良い医療人になるための人間力を養ってください。そのために多くの本を読むことは大きな力を与えてくれます。努力の先にはあなたの希望のある人生が待ち構えています。

男女平等の今の時代には少々言い方に問題ありますが、” Boys be ambitious!”



医療人にもとめられるもの

図書館長 石丸 圭荘

ご入学おめでとうございます。

医療人を志す新入生のみなさん、医療人に求められるものは何でしょうか？

医療現場では患者さんから病気の経過や症状、さらに生活環境や遺伝的な背景を考慮した家族歴などの様々な病気の原因に関わる情報を聞き出して、診断や治療に結び付けることは大変重要なことです。このことを「問診」と呼びますが、「問診」は患者さんに対して医療人（医療者）が一方向的に「問い診る」こととなります。それでは明確な病態がつかめません。そこでまずコミュニケーションを重視して良好な患者関係を築き、患者さんが積極的に訴える所見の中から必要な医療情報を詳細かつ正確に確認して治療に結び付けることが大切であるため「医療面接」（medical interview）と呼ぶようになりました。

この「医療面接」を学ぶためには、もちろんこれから学習する医療の基礎・専門知識をはじめ臨床実習で実際の患者さんと接することが重要ですが、十分な医療人としての知識や技量がなければ望めません。そこで、「医療面接」を取り入れた臨床実習開始前の客観的臨床能力試験（objective structured clinical examination :OSCE）が医療教育現場で試みられています。この様に患者さんと向き合う臨床現場で最も重要となるのが「医療面接」です。

「医療面接」のもつ役割には、次の3要素が重要であると言われています。

1. 患者を理解するための情報収集
2. 良好な医療者＝患者との信頼関係の構築
3. 患者教育と治療への動機づけ



医療は、一方的に行うものではなく患者さんの心理社会的要因が、病気の発症や症状の経過、予後に大きく影響するため、これに十分に配慮して、病気や治療について十分なインフォームド・コンセント（説明と同意）を行うことが大切です。多くの患者さんは病気や治療についての説明を十分に理解できていない場合もあり、インフォームド・コンセントが不可欠です。このように医療に対して患者さんが十分に理解し、納得のうえで同意して治療を受けられるよう、患者さん優先の医療が求められています。医療者は可能な限り時間をかけて丁寧に説明を行い、患者さんはそれを正確に理解して、同意した上で主体的に治療を受けられることが重要です。

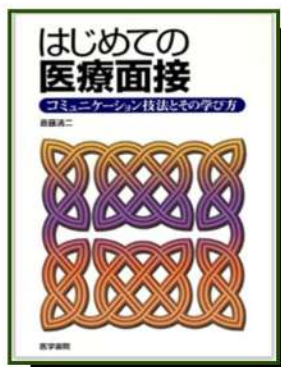
少し難しい話になりましたが、一方的な「問診」ではなく「医療面接」を実践することのできる医療人を目指してください。

また、本学附属図書館には「医療面接」や「OSCE」に関する蔵書がありますので目を通してみてください。さらに本学附属図書館を有効利用できるシステムを図書館 HP で紹介していますので、有効に活用してください。



困ったときに役立つ医療
面接法ガイド
津田司著 メディカル・
サイエンス・インターナ
ショナル 2001/12/1

患者さんとのコミュニケー
ションに悩む臨床家に貴重
な助言を与える書。



はじめての医療面接
ーコミュニケーション技
法とその学び方
齋藤清二著
医学書院 2000/8/1

これから医療現場で戦う医
療人のためのガイドブック。
医師と患者の会話例も豊富。



卒前・卒後教育に使える理学療
法のためのOSCEハンドブック
第1版 CATOPOT監修
アイベック 2022/6/30

本学の山田洋一先生も執筆されて
いる臨床技能確認のための書

A decorative border of colorful watercolor squares surrounds the text. The squares are in various colors including orange, green, blue, purple, yellow, and pink, arranged in a roughly rectangular frame.

新たな歴史の第一歩

学生部長・学術情報センター長 武内 朗

新入生及び在校生の皆さん、新学期を迎え、既に2か月を終えようとしていますが、それぞれが新たな目標に向かい、順調にスタートを切ることができているでしょうか？

さて皆さんもご存じの通り、本学は今年度から相川理事長就任により「三方良し」の理念の下、新たな歴史づくりが開始されました。これを機に我々学生委員会もより良い就学環境を求め、皆さんとともにより一層努力していきたいと考えています。

これまでも大学は学生のためより良い環境について検討し、少しずつ行動してきましたが、まだまだ勉強時やふっと一息つきたいときに使えるスペース不足など、いくつかの要望や意見を聞いています。しかしそれらの意見は散発的であるため、これまで喫緊の課題として前面に出てくることは少なかったのかもしれませんが。当然物理的な制限もあり、すべての要望に対し満額回答で答えることは難しいのは今後も継続されると思います。

本学は医療系大学という特質から、共通の志をもって大学生活を送っている人がほとんどだと思います。それだけに現在体験している一つひとつが将来にわたり貴重な思い出として、また一生付き合える仲間づくりにつながることを望んでいます。これらを実現するため皆さんに是非活用していただきたいのが「学友会」です。皆さん入学時に学友会費を収めていることはご存じでしょう。それを無駄にせず、より良い環境づくりにも活用しましょう。これまで高い意識を持った学生さんが学友会を主導し、学業の傍ら一生懸命皆さんの福利厚生のため努力してきました。そうした中、昨年度から皆さんの意見・要望を取り入れるため、学友会のクラスルームを設定しました。学友会の最高決議機関は総会ですが、クラスルームからも学生の意見を集め、取りまとめようとしています。皆さんの環境を変えるのは皆さん自身です。大学と大人同士の話し合いを通じ、学生良し、保護者良し、大学良しの「三方良し」を形作っていきましょう。

Apple創業者スティーブ・ジョブスは「時間は限られているのだから、他人の人生を生きて自分の時間を無駄に過ごしてはいけない」と語っていたそう

です。一生の中で最も輝いているかもしれない今この時を有意義なものにしていきたいものです。

皆さんの意見を活かすため学友会を積極的に活用し、活発な大学にすることで、了徳寺大学（SBC東京医療大学（仮称））の卒業生としてプライドが持てるよう、今を大切に行動していきましょう。そして新たな歴史刻みつつ、それを皆さんに続く後輩に伝えたいものです。

浦安市で学ぼう！

浦安市郷土博物館



今年リニューアル！
浦安の歴史的街並みが再現

大学と提携する市の図書館。
約110万冊の蔵書があり、駅での受け取りも可。



浦安市立図書館

皆さんの学生生活の場である浦安市。
皆さんも十分に市の施設を活用して
充実した学生生活を！

日の出分館



大学に一番近い市の
図書館の分館。

浦安市総合公園



大学の目の前に広がる広大な公園。運動や散策に最適。



新入生の皆さんへ

教養部長 山田 利彦


新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

皆さんと4年間、ここ了徳寺大学で共に学んでいけることを大変嬉しく思います。

一般的な大学生の大半が、まだ自分自身の将来において目指すもの、また何を職業とするかについて、明確な答えを見つけられていない中、皆さんはそれぞれが目指すべき道を既に明確に捉えています。そしてその道に進むべく、この大学を選択し、入学されたことは皆さんが思っている以上に凄いことだと認識してください。

現在、ほぼすべての人の傍らにあるスマートフォンを通して瞬時に世界中につながり、様々な情報が願うと願わざるとにかかわらず押し寄せてくる中で、しっかりと自分のやりたいことを捉えていることは、今後の自身の人生を構築していくうえで、すでに大きな一歩を踏み出しています。そうした皆さんだからこそ、理学、整復やトレーナー、看護や教職等の専門知識に対する探究心も強く、早くそうした専門分野の勉強に取り組みたいとの思いを強く持っていることは当然の帰結だと考えます。

しかしながら、それぞれの専門分野の知識を深めることが一番大切であることは言うまでもありませんが、資格取得後、如何にその専門の道において自身の将来を切り開いていくか、突き進んでいくかについては、大学で最初に直面する一般教養科目からの学び、そして読書から得る示唆が非常に大きいものとなります。自分自身の生き方について考えさせられることや、何気ない学びから得るこれまで持ち合わせていなかった視点や考え方などが、今後の人生を歩んでいくうえで、大きな力になると思います。





スマートフォンを通してニュースサイトやSNSから自身の嗜好に沿った情報のつまみ食いが、あたかも情報社会の一員として機能しているかのような錯覚に陥られがちな昨今、改めて、じっくりと興味ある分野の書籍を手にし、そうしたスマートフォンからの情報やノイズを遮断して、じっくりと読書に耽ってみることは非常に大切であると考えます。

新入生のみならず、それぞれの学年で新学期を迎え、新たな生活が始まり、新たな授業を受け、試行錯誤の毎日で読書の時間を取るのには難しいと思うかもしれません。しかし、ほんの30分、いや10分でもよいので、是非、日々読書をする時間を設けてください。もしその時間を習慣化することができたなら、必ずや素晴らしい未来が開けてくると思います。

大学での学びや読書を通して、皆さんの学生生活が素晴らしいものになることを、心より願っています！

了徳寺大学は芸術関連の図書に関しては、質・量ともに充実しています。他の医療系大学や公立図書館にはない資料がたくさんあります。勉強につかれたとき、実習で患者様に接するとき心にゆとりが欲しいとき、大学の図書館を除いてみてください。きっと素敵な出会いがありますよ。



日本絵画

伊藤若冲

国宝伴大納言絵巻

花姿流伝



花

いずれも美麗画像の豪華本です。
ゆっくり鑑賞してください。

西洋絵画

フェルメール

レオナルド・ダ・ヴィンチ

世界の美術館

Le Louvre

美術館



書

手島右卿大観

書跡名品叢刊

版画

長谷川潔

棟方志功



ロバート・キャパ

写真

土門拳



武道



嘉納治五郎大系



第3の耳でコミュニケーションスキルを高めよう

理学療法学科長 盆子原秀三

相手が今、困っていることは何だろう？何をしたらそれを和らげることができるのだろうか？医療・福祉の分野で働く人たちが日々、頭のなかで思い巡らせていることであり、絶えることがない相手への想いでもあります。

昔、先輩が問診だけで8割の診断はできると話したことがありました。実際にプライマリ・ケアの外来患者を対象にした研究では、問診で患者から詳しい情報を聞き出せば約86%は診断がつき、身体診察を行うと6%情報が増し、さらにX線検査や血液検査を行うともう8%情報が追加されるという報告があります。

理学療法士としての問診は診断というよりは、日常で生じている障害を明らかにする事から始まります。さらに対象者のニーズ（必要性）やホープ（希望・要望）を考えたとき、その人の生活背景や生き立ちにも話が遡ります。対象者が言葉で支援者に伝えている身体や生活面での不自由なこと、いわゆる障害といわれるものは氷山のほんの一角にすぎません。支援者が目で見ている部分より遥かに大きなことが日常生活のなかに潜んでいます。このことを会話のなかで感じ取れるようになるには多くの時間が費やされます。このコミュニケーションのスキルを身に付けるために、どのようにしたら良いのでしょうか？全米の理学療法士のあいだで長年愛読されているオサリバン・シュミットの「リハビリテーション—評価と治療計画」には、注意深く本を読むこと、また繰り返し質問することで意味が深まる。第3の耳で言葉にならない声を聞くことで、複雑な状況に適応できるような専門家になることができる、と書かれています。

教員から「ここはテストに出る」と言われ、飛ばし読みをして、ただかっこの穴埋めの用語を覚えることでの試験対策は効率的といえそうですが、しかし飛ばした無駄と思われる前後の関連性についての認識が、専門家としてのコミュニケーション能力を向上させることができます。心を読み取るにはじっくりと相手に対峙して文脈を読み取る必要があります。

良好なコミュニケーション構築のための根底にあるのは利他の心であり、「利他」とは自分のことよりも他の人のために尽くすことです。成績が良く、自ら達成した成果に誇りを感じ、自らの力で国家試験に合格したのだと考えますが、しかしこれはある意味では人を誤らせる考え方かもしれません。合格したのはその熱意と努

力の賜物であるのは確かだとしても、自分だけの手柄だとは言いきれないのです。入学から学生生活を送り国家試験に至る努力を手助けしてくれた親や友人、教師は？そして最大は臨床実習において全面的に信頼を任せてくれる患者は？自力ですべてを作り上げたとは言えない才能、あるいは素質は？私たちは、自分の生まれを自分の力で選択することができません。それはたまたま与えられたもので、決して自分の努力の賜物ではありません。また、たまたまその才能に対して報いを与えてくれる社会で暮らしている幸運についてどう考えればよいのでしょうか？自分の存在に関わる偶然や運に目を向けることで、私たちは共に支え合うという連帯意識を醸成するのではないのでしょうか？

コミュニケーションは人と人を結ぶための大切なツールです。そこに医療福祉分野、いや社会人にとっての良好なコミュニケーションを成り立たせるものは「利他」の心です。友達や教員のなかには苦手な相手もいるかもしれませんが、しかし志を共感した同胞でもあります。たくさんの人と接することでそれぞれの立場を理解することができるような環境づくりを支援したいと思います。



オサリバン シュミッツ リハビリテーション -評価と治療計画-
オサリバン/シュミッツ 編集 総監訳
相川英三 (前東京女子医科大学名誉教授) 監訳 乗松尋道 (前香川大学教授)
盆子原秀三 (了徳寺大学教授)
西村書店 2014/1/31



思いがけず利他
中島岳志 (東京工業大学リベラルアーツ 研究教育院教授) 著
ミシマ社 2021/10/25

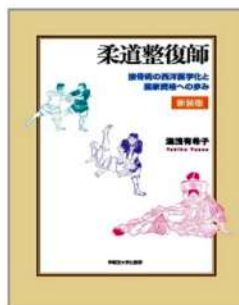
「そもそも柔道整復師とは？」

整復医療・トレーナー学科長 大澤 裕行

当学に限らず全国的には柔道整復師養成大学が15校、専門学校数はもっと多く全国で100校近く存在します。全国の現業柔道整復師数が7万人を超え、個人整形外科クリニックが地域医療の中心的医療として全国的に普及した昨今は、時代趨勢から毎年4500名程度の受験者数となり、同時に国試合格率が50%を切る厳しさから、毎年の合格者は2000名強と少なく、医療関連職一番の資格取得難関職となっています。しかし、養成校認可判決以前の1998年まで遡れば全国で14校の養成校と1050人定員であった訳ですから、むしろ厳しさを増した現行数こそが適正な正常値なのかもしれません。当学内でも、「整復医療学科」があるとは言え、そもそも「柔道整復師」って何なの？という声が聞こえてきそうなので、その歴史的経緯からお話ししようと思います。簡単に言うと、その原点は太古の昔まで遡れますが、検証可能な比較的近年の出自は戦国時代の武道医学、江戸時代の「柔術」にそのルーツが存在します。中国拳法家で文人の陳元賛ちんげんびんが渡来し、その高弟たちに伝授した拳法が後の「日本柔術」諸流派を生み、その殺戮法「殺法」と表裏である養生応急処置法「活法」が独自に発展し、現代の「柔道整復師」職に繋がるわけです。戦時あるいは武術稽古時の筋骨格系外傷の応急処置を担っていた職種、いわば、ER職でした。歴史に忠実に語れば、本来は「柔術整骨師」が正しいとは思われますが、業態復活の政治運動「公認期成会運動」からは正式に「柔道整復師」名となり、一般国民からは若干分り辛い職名称となりましたが、そのまま現在に至ります。

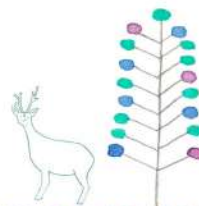
それでは本題に入ります。「柔道整復師」は、今の柔道整復師法では、骨折、脱臼、捻挫、挫傷(肉離れ等)の整復施術並びに応急処置とされています。骨折と脱臼については重大な危険性を伴うケースもあるため、継続施術には医師の同意が必要とされていますが、あらゆる医療職の中で、医師の独占業務である骨折や脱臼の処置を任されている職種は柔道整復師職以外ありません。

つまり、医師しかできない「医業」の限定解除という大変重要な業務の担い手として認可されている国家資格者集団ということになります。それ故、市井に現代のように個人整形外科クリニックが乱立開業して、筋骨格系プライマリーケアを独占する前は、一般的な皮下損傷の骨折や脱臼は全てと言って良いほど、町の整骨院、接骨院、つまり、柔道整復師が施術していました。まさに朝から晩まで多くの外傷患者で溢れかえり、毎日、救急の骨折や脱臼の処置で追われ、まるでテレビのER救急医療の現場の様相を呈していました。国民の意識も、整骨院こそが骨折脱臼処置の専門医とさえ誤認していたほどの隆盛な時代でした。当時活躍した熟練柔道整復師のほとんどが鬼籍に入り他界してしまいましたが、柔道整復師誰もが「自分は准医師だ！」という自負の下、整形外科病院で医師同様の働きをしていた時代でした。近年、往時とは異なり十分な研修や修行を怠る軽薄短小な柔道整復師が増え、頻繁にマスコミ報道で批判される職種に成り下がった感がありますが、当学をはじめ養成大学の筋骨格系外傷教育カリキュラムは、医学部での整形外科教育の数倍のボリュームと保存療法のスペシャリティに相応しい充実した内容となっています。つまり、双方の卒業時点では、整形を目指す研修医よりも柔道整復師の方が知識技術共に勝っているという事実に少なからず驚かされます。認知度の低い「柔道整復師」について簡略に紹介しましたが、まだまだ伝えたい事項が山とあります。紙面の関係で終わりますが、在学生は無論のこと、柔道整復師業界も奮起して国民の信用回復、再度の業権回帰に全力投球してくれることを渴望しつつ稿を終えたいと思います。



柔道整復師
接骨術の西洋医学化と国家資格への歩み
新装版 湯浅有希子著
早稲田大学出版部 2021/4/10

江戸時代から平成にかけての医療および医療制度の分析を通じて、「柔道整復」への形成過程を明らかにした書。





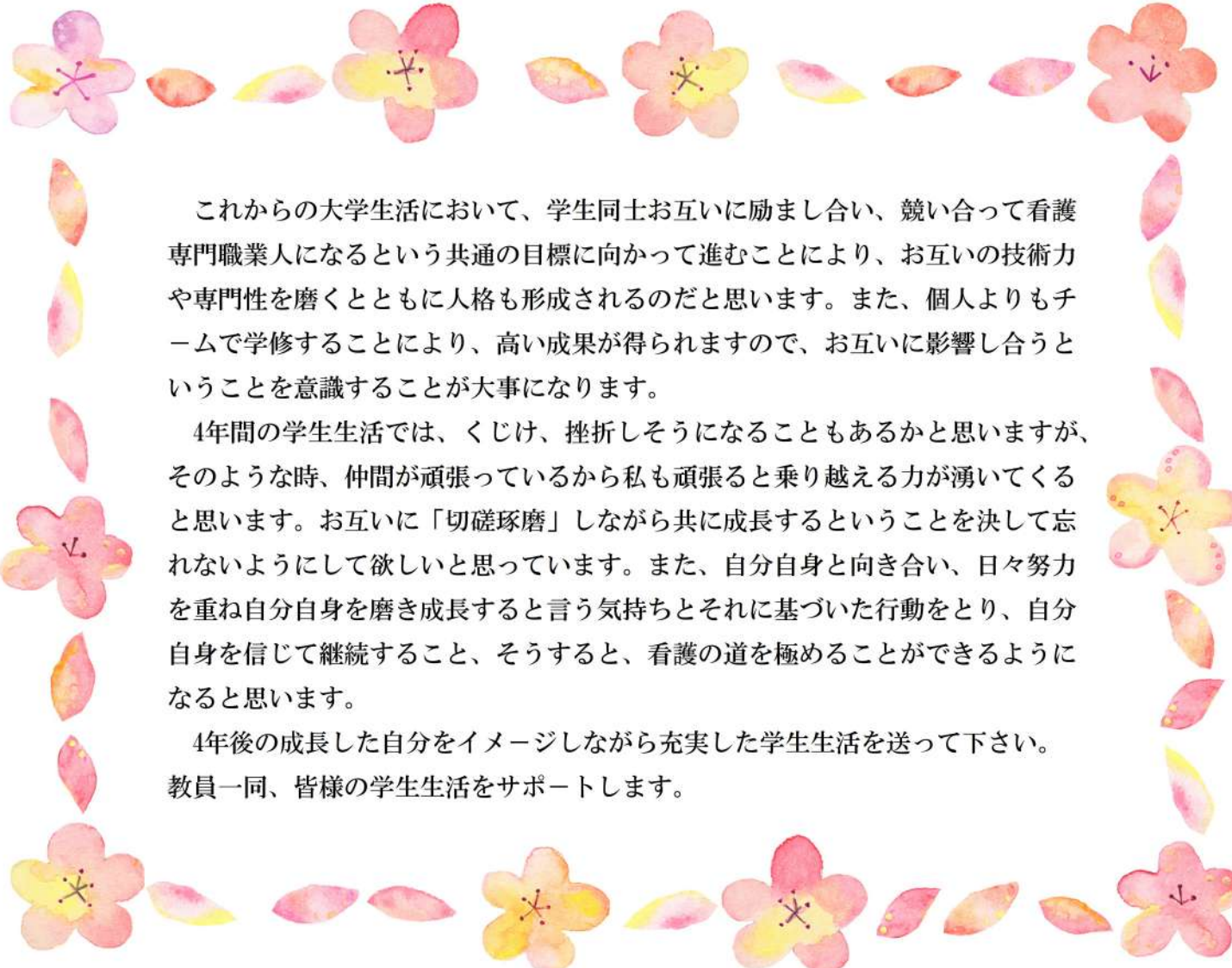
「切磋琢磨」の精神で成長しよう！！

看護学科長 佐藤みつ子

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。教職員一同心よりお祝い申し上げます。2019年から始った新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返し未だに終息がみえません。新入生の皆様の高校3年間は、新型コロナウイルスのパンデミックの影響を受けて、大変な苦勞をしてきたのではないかと思います。

これからはじまる大学生活では、これまでの過ごし方から少しステップアップしてほしいと思います。それは、自主・自律の精神と「切磋琢磨」の精神で自己成長を実感できることを目指して下さい。

自主・自律の精神とは、与えられたことをこなす受身的な学修でなく、自ら課題を発見し解決する主体的に学修に取り組むことです。切磋琢磨とは、詩経（孔子が門人の教育のために編纂したものといわれる）にある言葉です。「切」とは骨を加工する時の作業、「磋」とは象牙を加工する時の作業、「琢」とは玉を加工する時の作業、「磨」とは石を加工する時の作業のことだそうです。これらの作業には手間と緻密さが要求されることから、日々の努力を継続することにより、いっそう自分を磨き人間として成長させることや同僚とともに成長することを「切磋琢磨」というようになったということです。この精神は、どんなことであっても、皆がお互いに励まし合い競い合って、ひとつの目標に向かって精進することの大切さを意味しているのです。



これからの大学生活において、学生同士お互いに励まし合い、競い合って看護専門職業人になるという共通の目標に向かって進むことにより、お互いの技術力や専門性を磨くとともに人格も形成されるのだと思います。また、個人よりもチームで学修することにより、高い成果が得られますので、お互いに影響し合うということを意識することが大事になります。

4年間の学生生活では、くじけ、挫折しそうになることもあるかと思いますが、そのような時、仲間が頑張っているから私も頑張ると乗り越える力が湧いてくると思います。お互いに「切磋琢磨」しながら共に成長するということを決して忘れないようにして欲しいと思っています。また、自分自身と向き合い、日々努力を重ね自分自身を磨き成長すると言う気持ちとそれに基づいた行動をとり、自分自身を信じて継続すること、そうすると、看護の道を極めることができるようになります。

4年後の成長した自分をイメージしながら充実した学生生活を送って下さい。教員一同、皆様の学生生活をサポートします。



看護学生スタートブック
藤井徹也著
医学書院 2021/10/25



ナイチンゲール「看護覚書」
金井一薫 著
西東社 2014/8/1

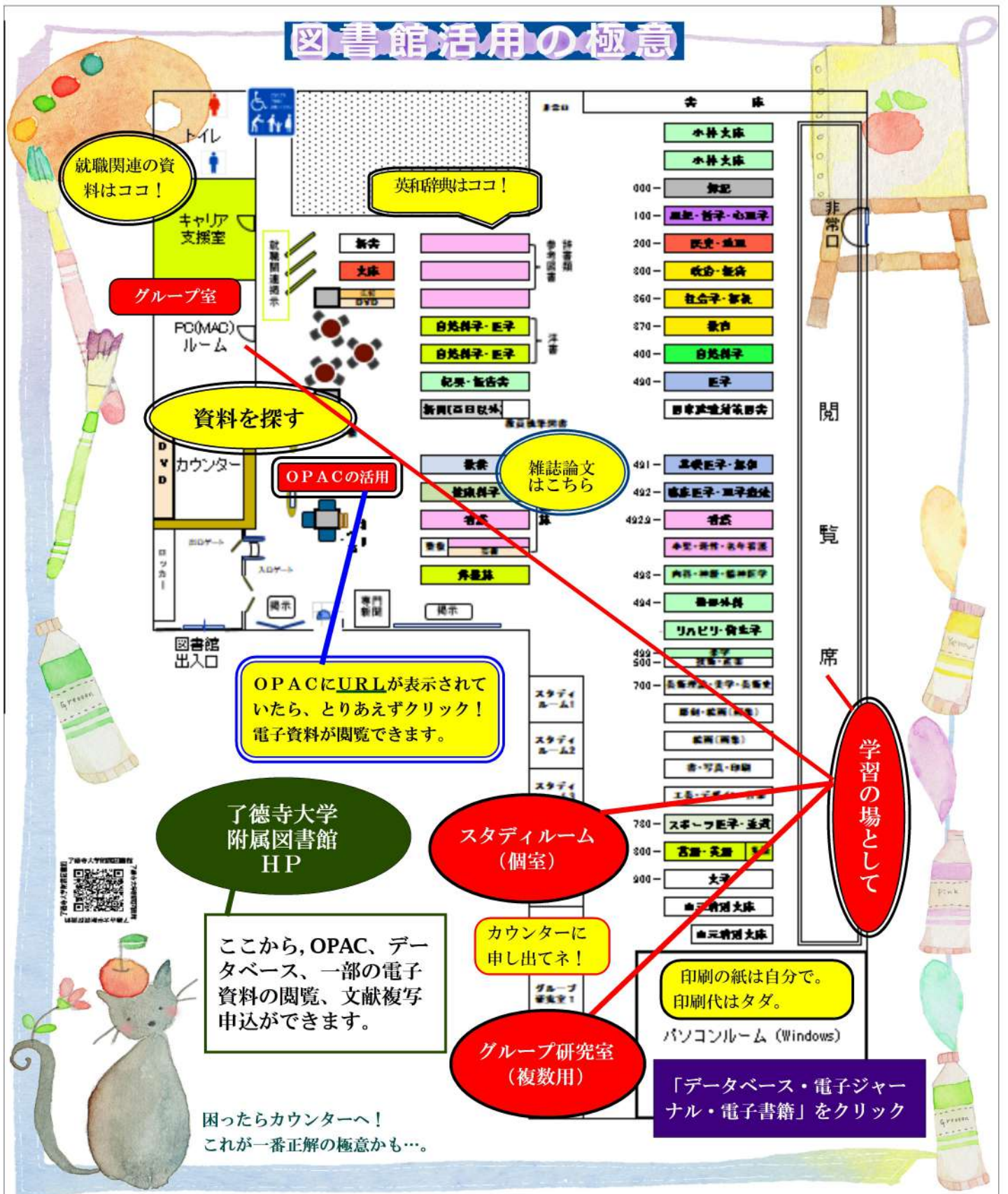


You will be stepping back unless you keep improving. Raise your purpose high.

あなた方は進歩し続けない限りは退歩してことになるのです。目的を高く掲げなさい。

この世の中に看護ほど無味乾燥どころかその正反対のもの、すなわち、自分自身は決して感じたことのない他人の感情のただなかへ自己を投入する能力をこれほど必要とする仕事はほかに存在しないのである





編集後記

新入生の皆さん、もう図書館には来館されましたか。大学の図書館は、小中高時代に比べても学習や研究のために果たす役割が大きい施設です。皆さんも授業や実習、レポート作成、グループでの討議、テスト勉強、そして、国試対策にと、頻繁に利用する機会が多いことと思います。むしろ、図書館を活用することなしに大学生活の学習をやり遂げることは難しいといえるでしょう。もちろん、勉強以外にも好きな図書を読んでリラックスしたり、休憩したりする場としても活用されています。今回ご紹介した図書は全て図書館で閲覧できます。是非目を通してみてください。図書館の活用で、あなたの大学生活を実り多いものになりますように。